

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地歴公民科 科目 地理総合

教科：地歴公民科 科目：地理総合 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～F組
 教科担当者：（A～F組：福田）
 使用教科書：（地理総合 標準高等地図 新編フォトグラフィア）

教科 地歴公民科 の目標：地理的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、国際社会に生きる資質・能力を育成する。

【知識及び技能】グローバル化する国際社会に必要な知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】社会的課題に対し、追究したり解決したりするための地理的な見方・考え方を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】グローバル化する国際社会において、広い視野に立ち、主体的に生きる資質・能力を身に付ける。

科目 地理総合 の目標：地理的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、国際社会に生きる資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解させる。 地図などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目させる。 概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養わせる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
A地図や地理情報システムでとらえる現代世界 【知識及び技能】 ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代世界の様々な地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界や地域の諸事象について、課題を解決する意識を育む。	・指導事項… 球面と平面 緯度と経度 国家の領域 日本の位置と領域 モノ・人・情報のグローバル化 ・教材… プリント 地図帳 スライド 教科書 資料集	【知識・技能】 定期テスト… ・地図の読図などを基に、方位や時差、本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 ・地図の有用性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 授業プリント・定期テスト… ・主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、主な国家の位置を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地図について、位置や範囲などに着目し、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリント… ・世界の諸事象について、地図を用いて課題を主体的に追究しようとしている。 ・課題意識を主体的に持ち、課題解決を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	7
定期考査 B国際理解と国際協力 【知識・技能】 ・世界の人々の生活文化が場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに起因することや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 【思考・判断・表現】 ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解させる。 ・地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界や地域の諸事象について、課題を解決する意識を育む。 ・日本が抱える課題に対して解決する意識を深めさせる。	・指導事項… 多様な生活文化と地理的環境 熱帯の気候と生活の関わり 乾燥帯の気候と生活の関わり 温帯の気候と生活の関わり 亜寒帯の気候と生活の関わり 寒帯の気候と生活の関わり ・教材… プリント 地図帳 スライド 教科書 資料集	【知識・技能】 定期テスト… ・各気候の分布とその特徴について理解できている。 ・それぞれの気候の特徴と関連した人々の生活文化について理解できている。□□それぞれの気候の特徴を写真等から読み取り、人々の生活に 【思考・判断・表現】 授業プリント・定期テスト… ・雨温図を作成し、その特徴を読み取ることができている。 ・写真を読み取り、気候の違いを踏まえながらその特徴をまとめることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリント… ・それぞれの気候帯で問いを見いだし、考察・構想しようとしている。 ・それぞれの気候帯で暮らす人々の抱える課題について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
定期考査	・定期考査					

2 学 期	<p>B国際理解と国際協力</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化が場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに起因することに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解させる。 ・地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界や地域の諸事象について、課題を解決する意識を育む。 	<p>・指導事項…</p> <p>世界の多様な宗教 宗教と結びついた社会の成立過程 産業の発展によって変化する生活文化 経済の発展・変容とその歴史 農業と食文化 経済発展によって変わる社会 産業の進展によって変わる社会 現代の諸課題</p> <p>・教材…</p> <p>プリント 地図帳 スライド 教科書 資料集</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>定期テスト…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の宗教分布について、地図を読み取り、特徴を理解している。 ・東アジアの経済発展の過程を社会変化と関連させて理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>授業プリント・定期テスト…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教と結び付いた社会の成立過程を理解している。 ・主題図を作成し、東アジアの特徴を読み取り、文化や生活、経済や政治と関連させて理解できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業プリント…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急速な経済発展により生じた様々な諸課題について、その解決策などを協働的に考察・構想しようとしている。 ・宗教と社会生活の関連について主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	8
	<p>B国際理解と国際協力</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化が場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに起因することに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解させる。 ・地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界や地域の諸事象について、課題を解決する意識を育む。 	<p>・指導事項…</p> <p>ヒンドゥー教と結びついた社会の成立過程 産業の発展と宗教の関わり 宗教・社会の課題と変化 イスラームの誕生と文化の伝播 イスラームと深く関わる生活文化 産業の発展とイスラーム社会の変化 紛争と社会運動</p> <p>・教材…</p> <p>プリント 地図帳 スライド 教科書 資料集</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>定期テスト…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アジアの人々の生活文化や産業の進展に与えた影響について理解している。 ・イスラームの成り立ちやその拡大について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>授業プリント・定期テスト…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アジアについて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ・イスラーム社会の抱える問題について、必要な情報を収集し、主題図を作成するなど、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業プリント…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アジアの社会生活の関連について主体的に追究しようとしている。 ・イスラーム社会が抱える問題と日本との関連性を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	8
	<p>B国際理解と国際協力</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化が場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに起因することに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解させる。 ・地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界や地域の諸事象について、課題を解決する意識を育む。 	<p>・指導事項…</p> <p>国家の統合と生活文化(ヨーロッパ) 移民国家の形成と生活文化(北アメリカ)</p> <p>・教材…</p> <p>プリント 地図帳 スライド 教科書 資料集</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>定期テスト…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの地域統合の過程を理解している。 ・アメリカ合衆国の移民構成、産業について、情報を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>授業プリント・定期テスト…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域統合に伴う人々の生活に關する課題について、格差や多文化共生の観点から協働的に考察している。 ・北アメリカの課題について多面的・多角的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業プリント…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域統合による課題に対し、身近な課題と関 	○	○	○	10
	<p>C持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 	<p>・指導事項…</p> <p>日本の自然環境 地震・津波 地震・津波への対策 火山災害と対策 風水害 風水害への対策 雪害・高温と対策 防災・減災への取り組み</p> <p>・教材…</p> <p>グループワーク 教科書</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>グループワーク…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>グループワーク…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>グループワーク…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害や防災、減災への興味関心を強く持 	○	○	○	8
							合計
							48

八潮 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地理・歴史 科目 歴史総合

教科: 地理歴史 科目: 歴史総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~F組

教科担当者: (A組~F組: 田中つかさ)

使用教科書: (「歴史総合 近代から現代へ」(山川出版))

教科 地理・歴史 の目標:

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べる力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連や概念などを活用して多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な広い視野に立ち、主体的に生きる資質・能力を身に付ける。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	近現代の歴史の変化についての意味や意義、特色を、時代やその推移、比較、相互関連、現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用し、多面的多角的に考察したり、歴史の中の諸問題を把握し、解決を視野に入れて構想し、議論することができ	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究、解決する態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【1】結びつく世界 1、アジア諸地域の繁栄と日本	○西・南アジアのイスラーム帝国 ○東南アジア ○明・清の政治と経済 ○幕藩体制下の日本 ○琉球とアイヌ ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・16世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解している。 【思考・判断・表現】 ・アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し、表現している。 ・清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アジアの国々を結んでいくアジア域内貿易のあり方について追究しようとしている。 ・江戸時代の日本の対外貿易を、東アジアだけではなく世界的な観点から再構築しようとしている。	○	○	○	4
	○主権国家体制の形成 ○宗教改革と科学革命 ○ヨーロッパ人の海外進出 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・ヨーロッパで成立した主権国家体制と、イギリスやフランスなど各国の国家の特徴について理解している。 ・15~16世紀にかけてのヨーロッパ人による航海と探検についてまとめている。 【思考・判断・表現】 ・宗教改革とヨーロッパ人の海外進出、および宗教改革と科学革命の結びつきについて考察している。 ・ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヨーロッパにおける中央集権的な国家体制の成立と海外進出の結びつきを追究しようとしている。 ・「大航海時代」の結果として進んだ「世界の一体化」と現代の「世界の一体化」=グローバル化の共通点と相違点を見出そうとしている。	○	○	○	4
【2】近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1、ヨーロッパ経済の動向と産業革命	○ヨーロッパ経済の動向 ○産業革命と社会の変化 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命を単に技術革新としてとらえるのではなく、国内外にもたらしたさまざまな変化を注視しようとしている。 ・産業革命による人々の生活の変化を追究しようとしている。	○	○	○	4
定期考査						1
1学期 2、アメリカ独立革命とフランス革命	○北アメリカ大陸のヨーロッパ植民地化 ○アメリカ独立革命 ○フランス革命 ○ナポレオンのヨーロッパ支配 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。 ・ナポレオン戦争によるヨーロッパにおける変化を理解している。 【思考・判断・表現】 ・アメリカ独立革命がその後の世界にあたえた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・フランス革命がその後の世界にあたえた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究しようとしている。 ・二つの革命の歴史的意義を見出そうとしている。	○	○	○	4
	3、19世紀前半のヨーロッパ	○ウィーン体制の成立 ○自由主義とナショナリズム ○1848年革命とウィーン体制の崩壊 ○資本主義と社会主義 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・ウィーン会議の内容とウィーン体制の特徴を理解している。 ・ウィーン体制がめざしたものと、自由主義やナショナリズムがめざしたものが対立していく構造を理解している。 ・フランスの第二帝政やイギリスの自由貿易体制の成立を理解している。 【思考・判断・表現】 ・資本主義に対抗する論理として社会主義がうみ出された背景について、具体的な人物などをあげながら考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ウィーン体制によってフランス革命以前に戻そうとする試みが、民衆の反発によって崩れていった点を見出そうとしている。 ・ドイツとイタリアの統一運動が失敗に終わった要因を見出そうとしている。	○	○	○
4、19世紀後半のヨーロッパ	○クリミア戦争 ○イギリスの繁栄 ○フランス第二帝政・第三帝政 ○イタリアの統一 ○ドイツの統一 ○ロシアの近代化 ○19世紀文化・科学と社会の変容 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・クリミア戦争の経過とその重要性を理解している。 ・イギリスとフランスの対外政策を国内状況とあわせて理解している。 ・メタリアやドイツの統一国家の形成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ビスマルク外交の基本方針が、どのように外交政策に反映されたかを考察し、表現している。 ・19世紀の文化・科学と社会の変容を、具体的な例をあげながら表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・今日の国家につながるイタリアやドイツの統一が、ヨーロッパのパワーバランスにどのような影響を与えたのかを検討しようとしている。 ・19世紀の文化と科学が今日の社会にも影響をあたえている点を見出そうとしている。	○	○	○	4
5、19世紀のアメリカ大陸	○ラテンアメリカ諸国の独立 ○アメリカ合衆国の拡大 ○南北戦争とその後のアメリカ合衆国 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・ラテンアメリカ諸国がどのようにして独立を達成したのかを理解している。 ・アメリカ合衆国の西漸運動について理解している。 【思考・判断・表現】 ・アメリカが南北戦争へと進んでいく背景である、北部と南部の対立構造について考察し、表現している。 ・南北戦争後の黒人差別について、理念と実状との違いについて多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・独立当初のアメリカ合衆国は必ずしも今日のような大国であったわけではなかったことを理解し、西方への領土の拡大がアメリカ合衆国の発展とどのように関係しているのかを追究しようとしている。	○	○	○	3

	定期考査					1	
2 学期	6、西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化	○西アジアの変容 ○インドの植民地化 ○東南アジアの植民地化 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・「東方問題」に関係する国々と、問題に対する各国の論理を理解している。 ・イギリスがエズス運河株式会社株の獲得や民族運動の弾圧を通して、エジプトを段階的に植民地化したことを理解している。 ・地図の比較から、ヨーロッパによる東南アジアの植民地化を読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・オスマン帝国による改革とその限界について考察している。 ・イギリスがフランスやインドの諸勢力との戦いによって、インドを段階的に植民地化した過程を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エジプトとインドにおけるイギリスの植民地化の過程を比較し、共通する点や構造を見出そうとしている。 ・東南アジアにおける今日のあり方と植民地化の歴史について追究しようとしている。				2
	7、中国の開港と日本の開国	○アヘン戦争 ○太平天国と洋務運動 ○日本への通商の要求と対応 ○ペリーの来航 ○開国とその影響 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・中国が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解している。 ・開国を機に江戸幕府と朝廷・諸大名の関係に変化が生じたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・中国における改革とその限界について考察している。 ・開国によって世界と結びついたことによる幕府や諸藩における知識・技術の受容と日本と欧米諸国間の貿易の特徴を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・開国後の欧米列強との貿易における中国と日本の輸出入品から、共通点や相違点を見出そうとしている。 ・幕末の動乱と欧米諸国との関係について追究しようとしている。				3
	【3】明治維新と日本の立憲体制 1、明治維新と諸改革	○新政府の発足 ○藩から県へ ○四民平等への諸改革 ○文明開化 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・大政奉還や新政府が発足した経緯を理解している。 ・四民平等に向けた諸改革を整理し、理解している。 【思考・判断・表現】 ・大政奉還の上表。五箇条の誓文の資料を読み、新政府の方針を比較して教養・相違点を考察している。 ・四民平等の原則により、徴兵や租税の徴収がどのように実施されたのかを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・新政府の方針や諸藩の対応など、立場の違いに留意し探究しようとしている。 ・文明開化の内容とその広まりなどについて調べようとしている。				4
	2、明治初期の対外関係	○欧米諸国との関係と新技術の導入 ○ロシアとの関係と北方開発 ○朝貢関係との摩擦と外征 ○日本人の海外渡航 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・明治新政府が諸外国と具体的にどのような関係を築こうとしたのかまとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本が導入した欧米からの新技術について具体的に考察し、清・朝鮮・ロシアとの国境について、諸資料を用いて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会使節団が具体的にどのような国々を訪問し、何を視察してきたのかを調べ、協議し、追究しようとしている。 ・条約などの内容をもとに日本の領土確定やその課題について調べ、追究しようとしている。				4
	3、自由民権運動と立憲体制	○自由民権運動の展開 ○松方デフレと民権運動の激化 ○立憲体制の成立 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・自由民権運動の展開について諸資料を基にその目的を理解している。 ・大日本帝国憲法の成立過程を理解し、そのもとで成立した制度や諸法典の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 ・自由民権運動の展開について、民権運動の担い手と政府側の双方の動きを比較して表現している。 ・松方財政について理解し、それが自由民権運動にどのような影響を与えたのか具体的な事件にも触れて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大日本帝国憲法の資料を読み、その内容を日本国憲法と比較して具体的に追究しようとしている。 ・大日本帝国憲法や諸法典がドイツやフランスからどのような影響を受けているか追究しようとしている。				4
	定期考査						1
	【4】帝国主義の展開とアジア 1、条約改正と日清戦争 2、帝国主義と列強の展開	○朝鮮と清 ○条約改正 ○日清戦争 ○日本の産業革命 ○列強各国の内政と帝国主義 ○「世界の一本化」の進展 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・条約改正の展開が、清を中心とした東アジアの国際関係にどのような影響を与えたのかを理解している。 ・日清戦争の原因・課程・結果を年表にまとめている。 ・日清戦争後に政府が軍備拡張と産業育成を進めるにあたり、政党がどのように対応したか理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本が親・朝鮮に対してどのような過程を経て条約を締結したかを表現している。 ・条約改正の背景や日清戦争後の政府と政党の動きについて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・山縣有朋の演説や「脱亞論」の資料を読み、その内容を比較し追究しようとしている。 ・日清戦争の原因・過程・結果を考察し、その後の日本の統治について追究しようとしている。				4
	3、世界分割と列強の対立	○アフリカの植民地化 ○太平洋諸地域の分割 ○ラテンアメリカの動向 ○列強の二極化 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・アフリカ大陸が植民地化されていく過程と、太平洋地域の分割が世界の一本化の動きの中で進展していくことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・列強と呼ばれる国々が、世界の大半の地域を支配下におさめていく過程をまとめ、考察している。 ・列強が二極化していく動向を、各国の思惑も踏まえて比較しながら考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・帝国主義について、列強の植民地化という観点と、アフリカ・太平洋諸地域・ラテンアメリカの国々の抵抗という観点から多角的にとらえて追究しようとしている。 ・列強の動きに対して植民地化された地域の人々はどうに対応していったかを追究しようとしている。				4
	4、日露戦争とその影響	○列強の中国進出と変法運動 ○義和団戦争 ○日露戦争とその結果 ○辛亥革命 ○インド・東南アジアの民族運動 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・列強が中国に進出したことに対して、中国の人々はどうに対応したかを理解している。 ・日露戦争が起きた背景・過程・結果をまとめている。 【思考・判断・表現】 ・中国で列強の権益獲得の動きが活発化したことで発生した民衆の動きを表現している。 ・清朝滅亡と中華民国の成立について、原因と辛亥革命の過程をまとめて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日露戦争の結果、日本国内や周辺地域にどのような影響を及ぼしたか、多面的に追究しようとしている。 ・インド・東南アジアの民族運動、西アジアの革命について、その動向を追究しようとしている。				3
	定期考査						1
【5】第一次世界大戦とロシア革命 1、第一次世界大戦とロシア革命	○バルカン半島での対立 ○第一次世界大戦の開戦 ○日本の参戦と二十一条の要求 ○戦時外交とアメリカ合衆国の参戦 ○第一次世界大戦の結果 ○ロシアの内戦とソ連の対立 ○日本のシベリア出兵 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。 ・二十一条要求に対する日中両国の動きを理解している。 ・ロシア革命に対する内戦の構造と日本がシベリア出兵を行った狙いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さを基に、第一次世界大戦の開戦に影響を与えたことを考察している。 ・戦時外交とアメリカの参戦が戦争の展開に与えた影響を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究しようとしている。 ・資料を活用し、シベリア出兵の進路からその構図を見出そうとしている。				3	
2、国際平和と安全保障	○パリ講和会議と国際連盟の成立 ○ワシントン会議	【知識・技能】 ・第一次世界大戦後のパリ講和会議、ワシントン会議における各国の思惑を理解している。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制による国際秩序のあり方を理解している。					

3 学 期		○1920年代の四ヨーロッパ諸国 ○国際協調の模索 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【思考・判断・表現】 ・第一次世界大戦後のイギリス・フランス・ドイツ・イタリア各国における変化を考察している。 ・各国が国際協調路線をとった背景を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・パリ講和会議、ワシントン会議における各国の思惑が条約の中にどのような影響を与えたのかを見出そうとしている。 ・国際連盟と国際協調路線の中で結ばれた条約について、その成果と限界を追究しようとしている。	○	○	○	3
	3、社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	○大正政変 ○米騒動と普通選挙運動 ○関東大震災 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・普通選挙の実現に至る議憲運動を展開した人々の動きと政府側の対応の推移を理解している。 ・大戦景気が日本経済に与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 ・図やグラフを使いながら民衆のエネルギーがどのような動きとなったかを考察している。 ・諸資料を用いて日本における中間層の出現や都市化による変化を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・普通選挙法とともに議憲派の内閣が治安維持法を制定した理由を追究している。 ・第一次世界大戦後に労働運動や社会運動が活発化する背景と展開を検討しようとしている。	○	○	○	3
	【6】経済危機と第二次世界大戦 1、世界恐慌の発生と各国の対応 2、ファシズムの台頭 3、満州事変 4、日中運動と国内外の動き 5、第二次世界大戦と太平洋戦争	○世界恐慌 ○ファシズム ○満州事変 ○日中戦争 ○第二次世界大戦 ○太平洋戦争 ・教材…一人一台端末、スライド、教科書、ワーク	【知識・技能】 ・世界教の発生の原因・過程。結果について理解している。 ・ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたかをまとめている。 ・日中戦争や第二次世界大戦の起こった背景を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ソ連の体制とファシズム体制の類似点を考察し、表現している。 ・日本とアメリカの対立背景を多面的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ドイツとソ連が独ソ不可侵条約を締結するに至る過程を追究しようとしている。 ・日中戦争の長期化や第二次世界大戦の終結に至る連合国側の会議についてその内容を追究しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						合計 70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公共 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組
 教科担当者： 伊藤 聡史
 使用教科書： （ 公共 704 公共 ）

教科 公共 の目標： 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
 よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。

【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。	社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。	よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 人生における青年期の意義を理解する。 青年期の特徴を理解する。	1. 生涯における青年期の意義 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【知識及び技能】 青年期の意義と特徴について理解している。	○			1
	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ・パーソナリティの理論を理解する。	2. 自己形成の課題（1） 3. 自己形成の課題（2） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 望ましい自己のあり方と自己形成について、多面的に考察し、適切に表現している。	○	○		1
	【学びに向かう力、人間性等】 ・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。	4. 職業生活と社会参加 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、職業や社会参加の意義への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。			○	2
	【知識及び技能】 ・日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。	5. 伝統・文化と私たち ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【知識及び技能】 ・日本人の伝統的な自然観の特徴について理解している。 ・日本人の伝統的な倫理観の特徴について理解している。 ・近代以降の思想家たちが、人間の生き方やあり方をどのように説いているのかを理解している。	○			2
	【思考力、判断力、表現力等】 ・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する。	第2章 人間としてよく生きる 1. 古代ギリシアの人間観 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【思考力、判断力、表現力等】 ・なぜ極端や過不足を退けた中庸を選択するべきと考えられるのか、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。		○		2
	定期考査	・定期考査		○	○		
	【知識及び技能】 ・民主政治の誕生と発展について理解する。 ・法の支配の考え方について理解する。	第5章 民主国家における基本原理 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原理 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【知識及び技能】 ・政治と国家、政府が何であるかを理解している。 ・民主政治が成立した経過と基本原理について理解している。	○			4
	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の主な政治制度	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				

	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の意義と課題について理解する。 議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	<ul style="list-style-type: none"> 多数決の長所と短所について、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。 		○	○	4	
	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立の経過について理解する 日本国憲法の基本原理について理解する。 	第1章 日本国憲法の基本的性格 <ol style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立 日本国憲法の基本的性格 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立の背景について理解している。 二つの憲法の原理と相違点について理解している。 		○		4	
	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 自由権の内容について理解する。 平等権の内容について理解する。 社会権の内容について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 自由生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権・請求権 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 死刑制度の是非について、協働的に考察し、適切に表現している。 差別を解消すべき理由について適切に表現している。 社会権の保障について、協働的に考察し、適切に表現している。 		○	○	4	
	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"> 新しい人権について理解する。 公共の福祉について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"> 環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 社会的権力による人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて理解している。 公共の福祉の内容について理解している。 		○		4	
	定期考査	定期考査		○	○			
2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 国会の役割や権限について理解する。 内閣の権限と議院内閣制について理解する。 	第2章 日本の政治機構と政治参加 <ol style="list-style-type: none"> 政治機構と国会 行政権と行政機能の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 議員立法に関する情報を読み取り、その課題について多面的に考察している。 日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 			○	○	4
	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 公正な裁判の保障 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解している。 裁判員制度について、多面的に考察し、適切に表現している。 司法参加の意義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 		○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 地方自治の本旨や住民の権利について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 地方自治と住民福祉 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 住民投票について主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に、住民投票制度をどのように生かしていくかについて検討している。 				○	4
	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 政党政治 選挙制度 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 日本の政党政治の課題について、多面的に考察し、適切に表現している。 選挙制度について関心を深めており、デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。 		○	○	○	4
		定期考査						
	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 政党政治 選挙制度 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> 政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 日本の政党政治の課題について、多面的に考察し、適切に表現している。 選挙制度について関心を深めており、デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決し 		○	○	○	4
	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> マス・メディアや市民運動の意義について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 世論と政治参加 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> マス・メディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。 インターネットが世論形成に与える影響について、多面的に考察し、適切に表現している。 政治参加と公正な世論の形成について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しよ 		○	○	○	4
【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"> 国内政治や国内法との比較で考える。 二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について考える。 	第1章 国際政治の動向と課題 <ol style="list-style-type: none"> 国際社会と国際法 <ul style="list-style-type: none"> 教材（教科書、プリント） ICT活用 	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"> 主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解している。 		○		4		

		・定期考査		○	○			
3 学 期	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・主要機関や専門機関の働きから考 える。 ・とくに安保理改革を材料に考 える。	2. 国際連合と国際協力 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について 理解している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて理解 している。 ・安保理改革の必要性について、大国一致の原 則や拒否権の行使の観点から協働的に考察・構 想し、それらを適切に表現している。	○	○		4	
	【知識及び技能】 ・対立構造の変容から、国際社会の 力学の変化を考える。 ・大国の動向や、国家対国家の枠組 みに取まらない対立構造について考 える。	3. こんにちの国際政治・教材 （教科書、プリント） ・ICT活用	【知識及び技能】 ・中国やロシアなどの大国が領有権紛争を起こ していることや、中東の民主化運動により地域 全体が不安定化していることなど、今日的な国 際政治の課題を理解している。 ・冷戦構造の概要について理解している。	○				4
	【思考力、判断力、表現力等】 ・ナショナリズムや自民族中心主義 との関係から考える。	4. 人種・民族問題 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【思考力、判断力、表現力等】 ・パレスチナ問題について、なぜ解決が難しい のかを協働的に考察し、それらを適切に表現し ている。		○			2
	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦による対立構造と安全保障の ジレンマを確認する。 ・核兵器禁止条約の採択に向けた動 きを参考に考える。 ・とくにアジア諸地域の信頼回復の 経緯を確認する。	5. 軍拡競争から軍縮へ 6. 国際平和と日本の役割 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・核兵器禁止条約の歴史的意義について理解す るとともに、核保有国や日本が参加していない 理由や課題についても理解している。 ・核兵器禁止条約に対する各国の主張や賛否を 調べたうえで、さらに多くの国が参加するた めには何が必要か、協働的に考察・構想し、それ らを適切に表現している。	○	○	○		2
	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会の公正なあり方について思索 したロールズとセンの主張を理解す る。 ・功利主義の考え方を理解する。	1. 人間と幸福 2. 公正な社会をめざして ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・個人の幸福と社会の幸福の調和をめざした、 ベンサムとミルの考え方を理解している。 ・現実社会における不公正の問題について、 協働的に考察し、適切に表現している。	○	○			2
		・定期考査						
							合計 70	

東京都立八潮高等学校 令和5年度 教科 地理・歴史 科目 地理A 年間授業計画

教科 科： 地理・歴史 科目： 地理A 単位数： 2単位
 対象学年組： 第3学年選択者
 教科担当者： (： 福田貢士)
 使用教科書： (「 高等学校 地理A 世界に目を向け、地域を学ぶ 」 (第一学習社))
 使用教材： (「世界の諸地域NOW2021」 帝国書院、「標準高等地図」 帝国書院)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第I編 現代世界の特色 第1章 地球儀や地図からとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図などを活用して、日本の位置をとらえられる。 領土をめぐる問題や経済水域の問題について人々の生活に及ぼす影響などを理解できる。 日本列島のおかれた地理的状況を把握し、想定される自然災害に備える方法を知る。 	教科書、プリント、ICT	45
5月	<ul style="list-style-type: none"> 国と国の結びつき 地球儀と地図 	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示すことができる。 時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。 地球儀や世界地図を活用して、球面を平面にすることはできないことを知る。 	教科書、プリント、ICT	
6月	第2章 世界の生活・文化の多様性 ・人々を取りまく地形	[自然環境と人間生活] ・世界の陸地が、安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯からなることを知り、環太平洋造山帯やアルプス=ヒマラヤ造山帯からなる新期造山帯では地震の発生や火山活動が多く見られることを知る。 ・世界や日本の主な地形の特色と人間生活との関わりについて知る。	教科書、プリント、ICT	
7月	・人々を取りまく気候	・世界の気候について、大気の大循環を踏まえ、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯(冷帯)、寒帯の分布を知る。	教科書、プリント、ICT	
9月	・人々を取りまく経済と文化	[宗教、民族と人間生活] ・三大世界宗教について、その分布を大観し理解するとともに、その他のいくつかの宗教を知る。また、宗教と日常生活のかかわりについて理解するとともに、世界の主な言語や民族の分布を大観し知る。	教科書、プリント、ICT	60
10月	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の生活・文化 東アジア・南アジア・東南アジアの生活文化 	[世界の諸地域の生活・文化と多様性] ・世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	教科書、プリント、ICT	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の生活・文化 西・中央アジア・アフリカの生活・文化 	[世界の諸地域の生活・文化と多様性] ・世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	教科書、プリント、ICT	
12月	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の生活・文化 ヨーロッパの文化・アンゴラ・ラテンアメリカ・オセアニアの生活・文化 	[世界の諸地域の生活・文化と多様性] ・世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	教科書、プリント、ICT	
1月	第3章 地球的課題の地理的考察 ・環境問題	[地球的課題と解決に向けた取組] ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題など地球的課題が多く存在することを知る。 ・地球的課題は、同じ原因であっても、地域によって現れ方が異なることを知る。	教科書、プリント、ICT	25
2月	・資源・エネルギー問題	[地球的課題と解決に向けた取組] ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題など地球的課題が多く存在することを知る。	教科書、プリント、ICT	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月		<ul style="list-style-type: none"> ・地球的課題は、同じ原因であっても、地域によって現れ方が異なることを知る。 		
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・人口・食料問題 ・居住・都市問題 	<p>[地球的課題と解決に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題など地球的課題が多く存在することを知る。 ・地球的課題は、同じ原因であっても、地域によって現れ方が異なることを知る。 	教科書、プリント、ICT	

年間授業計画

教科:(公民科) 科目:(政治経済演習) 対象:(選択クラス)

単位数: 2

教科担当者:(選択 伊藤 聡史 ㊞)

使用教科書:「最新 政治経済 新訂版」(実教出版)

使用教材:「ベストセレクション大学入学共通テスト2021 政治・経済 重要問題集」(実教出版)、

指導内容 【年間授業計画】	「政治・経済」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月 現代経済の仕組み	経済活動とは、分業と交換の仕組みを活用して、人間生活の維持・向上のために行われるものであることを知る	教科書・プリント	10
	現代の国民経済を構成する主要な経済主体である家計、企業、政府の機能と役割について知る	教科書・プリント	
	市場経済の仕組みや、市場の失敗としての公害、消費者問題などについて知る	教科書・プリント	
5月 現代経済の仕組み	市場経済の仕組みや、市場の失敗としての公害、消費者問題などについて知る	教科書・プリント	6
	物価や景気の変動が国民生活に大きな影響を与えることや、国民生活を向上させるには、経済成長と物価の安定が必要であることについて知る	教科書・プリント	
6月 現代の日本経済と福祉の向上	金融市場や、現代の管理通貨制度の仕組みと中央銀行の機能について知る	教科書・プリント	10
	現代経済の特徴について、我が国をはじめ世界の多くの国々の経済体制が、完全な市場経済でも計画経済でもなく、混合経済と呼ばれる仕組みから成り立っていることを知る	教科書・プリント	
	経済活動の在り方と福祉の向上との関連について、経済発展を優先する効率性を重視した考え方や、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方は両立させることが難しいことを知る	教科書・プリント	
9月 現代の日本経済と福祉の向上	金融市場や、現代の管理通貨制度の仕組みと中央銀行の機能について知る	教科書・プリント	10
	現代経済の特徴について、我が国をはじめ世界の多くの国々の経済体制が、完全な市場経済でも計画経済でもなく、混合経済と呼ばれる仕組みから成り立っていることを知る	教科書・プリント	
	経済活動の在り方と福祉の向上との関連について、経済発展を優先する効率性を重視した考え方や、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方は両立させることが難しいことを知る	教科書・プリント	
9・10月 現代の日本経済と福祉の向上	経済活動の在り方と福祉の向上との関連について、経済発展を優先する効率性を重視した考え方や、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方は両立させることが難しいことを知る	教科書・プリント	10
	我が国が少子高齢化社会を迎えて、様々な面で国民経済に大きな影響が出始めていることや、医療や年金など社会保障の財政負担の増大が大きな問題となっていることを知る	教科書・プリント	
11月 問題演習	問題集を解き、試験に対応できる力をつける。	教科書・プリント	4
11月 12月 問題演習	問題集を解き、試験に対応できる力をつける。	教科書・プリント	
12月 1月 問題演習	問題集を解き、試験に対応できる力をつける。	教科書・プリント	4

評価の観点・方法: 考査の素点、授業ノート提出、宿題ワーク、その他の提出物、授業態度等を総合して評価する。

東京都立八潮高等学校 令和5年度 教科地歴公民科目世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：世界史B 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～F組

教科担当者：物部 篤士

使用教科書：「詳説世界史B」（山川出版社）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ルネサンス・宗教改革・主権国家・アメリカの独立	ヨーロッパ近世の幕開け、各国の絶対王政について理解する。またイギリスの市民革命の発生やアメリカ合衆国の独立など、啓蒙思想の登場やその影響についても理解させる。	教科書・プリント・資料集	24
5 月	フランス革命とナポレオン ウィーン体制の成立 ヨーロッパ再編と新統一国家の誕生	フランス革命の発生とヨーロッパへの影響の拡大について理解する。 ナポレオン1世の登場と破滅、その後のウィーン体制について理解する。 自由主義とナショナリズムの成立を理解する。 ウィーン体制成立後の欧米諸国の動きを理解する。	教科書・プリント・資料集	
6 月	西欧勢力の進出とインドの植民地化 帝国主義とアジアの民族運動	第二次産業革命と帝国主義の成立について理解する。 20世紀初頭の欧米列強の国内政治を理解する。 アフリカの植民地化と列強の帝国主義について理解する。 列強諸国の二極分化を帝国主義前と帝国主義後の違いに着目しながら理解する。 中国の分割を日露の対立と関連づけながら理解する。 辛亥革命について理解する。	教科書・プリント・資料集	
7	第一次世界大戦とロシア革命	バルカン半島の危機を、小国間の対立、列強間の対立それぞれの側面から理解する。 第一次世界大戦の原因を理解する。 第一次世界大戦の戦時外交と終戦について 現代への影響と関連づけながら	教科書・プリント・資料集	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月		<p>から理解する。 ロシア革命について理解する。 ソヴィエト政権と戦時共産主義について理解する。</p>		
8月				
9月	<p>ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動</p>	<p>ヴェルサイユ体制とワシントン体制を欧米、日本、小国などそれぞれの立場への影響を多角的に理解する。 ファシズムの誕生と、国際社会の影響を考察する。 世界恐慌および、第一次世界大戦が東アジアに及ぼした影響を理解する。 第一次世界大戦後の日本の動きとアジアの民族運動について理解する。</p>	教科書・プリント・資料集	
10月	<p>世界恐慌とファシズム諸国の侵略</p>	<p>世界恐慌とその影響を各国のそれぞれの立場から多角的に理解する。 世界恐慌の各国の対策を理解する。 ファシズム国家の特徴を理解し、影響を多角的に考察する。</p>	教科書・プリント・資料集	
11月	<p>第二次世界大戦</p>	<p>第二次世界大戦の開戦原因を理解する。 第二次世界大戦のヨーロッパ戦争を各国の立場から多角的に理解する。 太平洋戦争について理解する。 大戦が及ぼした影響を理解する。</p>	教科書・プリント・資料集	28

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	第二次世界大戦後の世界秩序の形成過程を理解する。 アジア諸国の成立・独立と朝鮮分断を理解する。	教科書・プリント・資料集	
1 月 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り	朝鮮戦争・軍拡競争と冷戦のはじまりを関連つけて理解する。 各国の経済復興を理解する。 米・ソを中心とする各国の対立・紛争を理解する。	教科書・プリント・資料集	
2 月			
3 月			

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

東京都立八潮高等学校 令和5年度 教科 地理・歴史 科目 日本史B 年間授業計画

教科 科： 地理・歴史 科 目： 日本史B 単位数： 4単位

対象学年組： 第3学年A組～F組

教科担当者： (A～F組： 田中つかさ)

使用教科書： (『詳説 日本史B』 (山川出版))

使用教材： (『新詳 日本史』 (浜島書店)、 『ゼミナール日本史』 (浜島書店))

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	日本列島の成立と文化の始まり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権	・人類の誕生と、日本列島の成立過程について、地質学的な区分を踏まえ理解することができる。 ・更新世の旧石器時代から完新世の縄文文化へと進んだ日本の社会が、中国・朝鮮の農耕文化の影響を受けて弥生文化を生み、国家の形成を進めていく過程を理解する。	教科書・ノート・ワーク	45
5月	飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代	・東アジアの動向とヤマト政権の発展について、推古朝における厩戸王の国家組織形勢について理解する。 ・国際的な緊張の中で中央集権の確立と国内統一の必要に迫られる中、大化の改新とその後の天武・持統天皇の律令国家形成の過程、大宝律令の内容について理解する。 ・東アジア諸国との関わりに着目しつつ、平城京遷都やその地での政治的な特色について、藤原氏の進出と政界の動揺の流れを理解し、律令体制を見直しが必要になってくることを理解する。	教科書・ノート・ワーク	
6月	平安王朝の形成 摂関政治 地方社会の展開と武士	・仏教政治の弊害を解決すべく、平安京に遷都し、桓・嵯峨天皇による律令体制の見直しについて理解する。 ・平安中期における、藤原北家の台頭と摂関政治の過程、また天皇親政を経て、藤原北家の地位が確固たるものになったことを理解する。 ・律令体制の行き詰まりが決定的となる中、地方武士が誕生し、政界で活躍していく過程について理解する。	教科書・ノート・ワーク	
7月	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立	・荘園と公領の改革後、白河天皇が院政を開始した。上皇に権力が集中する中、私的な土地少輔が展開して、院や大寺社、武士が独自の権力を形成するなど、広く権力が分散していくことになり、社会を實力で動かそうとする風潮が強まり中世社会がスタートしていく過程を理解する。 ・源氏が東国に勢力を広げていく中、源氏と平氏が戦い、平氏政権が確立したことを理解する。 ・鎌倉幕府の成立過程について、源平の合戦と、頼朝による幕府機構の準備過程とその組織について理解する。	教科書・ノート・ワーク	
9月	武士の社会 (執権政治の展開) 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退	・北条氏の台頭と承久の乱、執権政治の展開について武士の生活に着目しつつ理解することができる。 ・東アジア情勢の変化に着目し、蒙古襲来と幕府の衰退について理解する。	教科書・ノート・ワーク	60
10月	室町幕府の成立 幕府衰退と庶民の台頭	・鎌倉幕府の滅亡から建武の新政を経て、室町幕府が成立していく過程について理解することができる。 ・南北朝の動乱と、守護大名の台頭について、東アジアとの交易や琉球・蝦夷ヶ島との関係に着目し理解することができる。 ・室町幕府の衰退と庶民の台頭について、各地で起こった一揆の内容やその背景などに着目し理解することができる。	教科書・ノート・ワーク	
11月	戦国大名の登場 織豊政権	応仁の乱以降、下剋上の風潮が高まり、各地で戦国大名が登場していく過程並びに代表的な戦国大名による領国支配について、分国法や様々な政策内容とともに理解することができる。 ・ヨーロッパ人の東アジア進出とともに、南蛮貿易が開始され、キリスト教が日本に伝来した過程を理解する。 ・織田信長と豊臣秀吉の統一事業について、東アジアとのかかわりに着目しつつ、その過程を理解することができる。	教科書・ノート・ワーク	
12月	幕藩体制の成立と幕藩社会の構造 幕政の安定と経済発展 幕政の改革	・秀吉の死後、徳川家康が江戸に幕府を開く過程と、江戸幕府の政治機構について、諸外国との関係に着目するなどして内容を理解することができる。 ・様々な幕府の統制について理解し、幕府の安定期や経済発展について理解することができる。 ・凶作や自然災害など、幕藩体制が衰退するなか、江戸の三大改革など、幕藩体制の立て直しを図るべく、将軍や老中たちが課題解決を目指し、取り組んできた内容を理解する。	教科書・ノート・ワーク	35
1月	江戸幕府衰退と近代への道	・相次ぐ飢饉や列国の接近による脅威の中、幕藩体制がいよいよ維持できなくなり、これから諸外国とどのような関係を構築すべきなのか、現状と課題について理解を深めることができる。	教科書・ノート・ワーク	
2月				
3月				

年間授業計画

教科:(公民科) 科目:(現代社会) 対象:(選択クラス)

単位数:2

教科担当者:(選択 小牟礼和人 ㊟)

使用教科書:「最新現代社会 新訂版」(実教出版)

	指導内容 【年間授業計画】	「現代社会」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月	第1部わたしたちの生きる社会	「幸福、正義、公正」などの考え方が、現代社会の諸課題を考察するための基盤であることを知る。例えば、生命・情報・環境の問題では、様々な対立点があることを理解する。	教科書、プリント	24
5月	1 青年期の自己形成	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期とは、社会とかかわり合う中で自己を形成し、心理的、社会的な自立を遂げていくなど、自己を確立する基礎を培う重要な時期であることを理解する。また、青年期の意義について、心理的離乳、第二の誕生、境界人、第二反抗期などの言葉を使って、説明できる。 ・青年期の課題として、自分らしい生き方・価値観を見付け、「自分とは何者であるか」を自覚するアイデンティティ(自我同一性)の確立があることを知る。また、自己実現につながる将来の職業生活について考察し、よりよく生きることの大切さを理解する。 ・青年期の自己形成を図る上で、社会とかかわりが重要であることを知るとともに、社会参加が自己実現の可能性を高めることについて、具体的事例などを踏まえて理解する。 	教科書、プリント	
6月	現代の民主政治と日本国憲法 現代国家と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> ・社会契約説の基本的な考え方を理解し、民主政治と国家の在り方について、個人と国家の関係の視点から考察する。 ・生命がかけがえのないものであることについて理解し、生命尊重の精神をあらゆる生活の中に生かしていくことが重要であることを知る。 ・社会生活を営む上で、自由・権利と責任・義務とは切り離すことのできない関係にあることを理解する。 	教科書、プリント	
7月	日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の条文を踏まえて、天皇が日本国及び日本国民統合の象徴であることや天皇が行う国事行為について理解する。 ・日本国憲法第13条の「個人の尊重」について正しく理解し、個人の生命・自由及び幸福追求の権利は最大限尊重されなければならないことを知る。 ・法や社会規範が、私たちの生活のあらゆる領域にかかわっており、私たちの権利を守っていることを理解する。 	教科書、プリント	
9月	日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法が保障する基本的人権には、自由権、社会権、平等権などがあり、さらに自由権の内容として、人身の自由、精神の自由、経済活動の自由があることを理解する。 	教科書、プリント	28
10月	日本の政治機構と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ・国民主権が民主政治の根幹であることを知り、現在の我が国の選挙制度の仕組みについて理解する。 	教科書、プリント	
11月	日本の政治機構と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の政治制度の基本的な仕組みについて理解するとともに、内閣が国会に対して連帯して責任を負う議院内閣制を採用していることなどについて説明できる。 ・民主社会における政治参加の重要性について理解し、新聞やニュースなどを通じて、現実の政治の動きについて関心を深める。 	教科書、プリント	
12月 11	国際社会と人類の福祉 国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・現代のグローバル社会が、人、商品、資本、情報などが国境を越えて自由に移動し、国際的な相互依存関係が深まる中で形成されてきたことを説明できる。 ・人権、国家主権、領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の協調的な取組が重要であることを知る。特に、北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを知る。 ・国際社会における国際法の重要性について知るとともに、国際平和の実現や国際的な人権問題の解決に向けて、国際連合や非政府組織などの果たす役割が増大していることを理解する。 	教科書、プリント	
1月 12	国際経済の動向と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的な規模で自由な経済活動が拡大していることや、国際経済問題の解決には地球規模での連携が必要であることを理解する。 ・グローバル化の進展とともに、国際的な経済の相互依存関係が深まっていることを理解し、欧州連合などの事例を踏まえて地域的経済統合の動きについて知る。 	教科書、プリント	18
2月	共に生きる社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・人種や民族の違いが、宗教や言語などの問題と結びついて地域紛争を引き起こすことがあることを知る。また、グローバル化の進展とともに、文化や宗教などの違いを越えて、人類が共生に向けた努力を行うことが重要であることを理解する。 ・核兵器をめぐる現状と世界の軍縮への取組について理解するとともに、国際連合をはじめとする国際機関や非政府組織などが軍縮に取り組んでいることを知る。 	教科書、プリント	
3月	共に生きる社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の形成に参画することの重要性について理解し、「個人と社会の関係」、「社会と社会の関係」、「現役世代と将来世代の関係」のいずれかに注目して現代社会の諸課題について考察できる。 	教科書、プリント	

評価の観点・方法:積極的な発言など、授業への参加態度や授業態度や、プリントをきちんと記入し、整理できているか。
テストの得点・授業態度・提出物等を総合的に判断して評価する。